

「私にとってのクリスマス」

ヨハネの福音書 1章 9～13節



聖書を見ると、クリスマスは、夜の出来事として記されています。博士たちは夜空に輝く星に導かれてやってきましたし、羊飼いたちに天使が現れて救い主の誕生を告げたのも夜のできごとでした。

これは偶然でしょうか。そうではないように思います。マタイやルカは、私たちにとってのクリスマスをそのようなエピソードとして書いていますが、ヨハネはその意味を言葉で語っています。私にとってクリスマスはどのような意味があるのでしょうか。

① イエスキリストは、なぜ人となられたのだろう

“すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。” 9-10

“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。” ヨハネ3:16

“そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が皇帝アウグストゥスから出た。” ルカ2:1

② イエスキリストは、なぜ拒絶されたのだろう

“この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかつた。” 11

“ところが、彼らがそこにいる間にマリヤは月が満ちて男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝させた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。” ルカ2:6-

“キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため…。” 1ペテロ2:22-

③ イエスキリストは、なぜ飼い葉桶に生まれたのだろう

“しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。” 12

“御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。今、私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。」” ルカ2:10-

“羊飼いたちは…急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉桶に寝ているみどりごを捜し当てた。” ルカ2:16